

<保育目標>	手と手と手と(みんなの力で) “ WE LOVE 竜神”
ゆったり ・わくわく ・どきどき“楽しいこども園” 『発見』『試す』『楽しい』『すごーい』を見つけよう	
<目指す子ども像>	
た: たくましい子	つ: つよくやさしい子
の: のびのびと表現する子	こ: 心豊かな子
<園の強み>	<園の弱み>
<ul style="list-style-type: none"> ・声に出すと、すぐ形になっていく。 ・問題点を全員で解決していく姿勢がある。 ・自分の役割、係を自覚し、意識して進めている。 ・行動に移すまでのスピード感がある。 ・みんなで同じ本、同じページを共通理解し手、同じ思いで保育ができています。 ・保護者からのアンケートにもあるが温かい園で、保護者の思いに寄り添える。 ・保育者同士の連携が取れていて、チーム保育になっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的には分かっているつもりであっても、一人一人には思いや理解度に温度差がある。 ・係り以外は、人任せになったり、頼ったりしてしまう。 ・自分の仕事と手伝ってもらう仕事の境目が難しい。 ・早番で帰れるようにしたい。

A<改善>

<園の強み> 効果

- ・個人の目標を貼りだすことで自分の保育の見直しや他のクラスの考えも理解しようとする姿勢がある。
- ・誕生児を朝礼ノートに記入し朝礼で発表し、その子の良いところを担当から聞くことでみんなが共通理解し声をかけることができる。
- ・アレルギーや衛生面の話し合いが具体的にでき共通理解ができ誰でもいつでも対応できる。
- ・職員会が増えたことで行事の内容について多くの職員で考え、共通理解ができた。
- ・怪我のしやすい場所を目に見えるように掲示したことで、注意したり子どもたちに伝えられたりすることができる。
- ・地域の方たちを写真で紹介するのは、協力体制を伝えられるという意味でもよかった。

<園の弱み> 課題

- ・職員が多いために、情報の共有等に温度差があったりスムーズに伝わっていない場合がある。
- ・目標を立てている人はそれぞれに課題を持っているが共通理解まではできていない。深まりがない。
- ・連携といいながら具体性がない。実際にどんな場面が必要か具体的に全員が共通理解をしていく必要がある。
- ・安全指導面は係りがマンネリ化しており機能していない。(ノートに書くだけでいいの?) 看護師さんも含め原因、対応をはっきりさせていかなければならない。
- ・子供たちがワクワクするような活動や保育者もワクワク楽しみながら環境構成や雰囲気作り、保育のできるような職場に持っていけるとよい。
- ・新任研修を行い早く職場に慣れえるように持っていけるとよい。

<重点努力目標>	P <内容>
① 子どもの最善の利益を実現するため、幼保連携型のこども在り方を考え、更なる保育の質の向上を目指す。(保育の質向上部会)	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研究の充実を図りテーマをもとに保育内容の理解を深め、『エピソード』を活用しながら、有益な子どもへの関わりを実践する ・目的意識を明確にするため、『決意表明表』を活用し、個人の目標を周囲にも理解してもらいながら、その内容結果を確認し合い、保育に活かす。 ・新任研修、指導者研修を中心に保育内容の共通理解をし、こどもが生き生き活動できる環境構成の充実を図る。
② コミュニケーション力強化を中心として、職員間、園と保護者、園と地域の連携体制の維持・向上を目指す。(連携強化部会)	<ul style="list-style-type: none"> ・会議を機能的に活用することでコミュニケーション強化を図る。各会議で取り扱う内容を整理し、その伝達の仕方を工夫し連携の在り方を探りながら行う。(職員間) ・保護者と保育師の関係を強化するため、親近感もてる取り組みを講じる。職員紹介写真にメッセージを加えるなど保育者のことを知ってもらう。(対保護者) ・地域とのコミュニケーションを可視化し園と地域との関わりを保護者にも周知し保護者と地域の関係性も強化する。園・保護者・地域が三位一体となる情報共有をする(対地域)
③ 安心安全に繋がる危機管理体制活用の徹底と強化を図る。(安全衛生部会)	<ul style="list-style-type: none"> ・病気やけがの予防や応急処置の方法を共有する。 ・アレルギーや与薬管理について情報の共有と強化を図る。 ・視覚化した園内外のヒヤリハットをより見やすくすると共に、アップデート周期を短くする。

C 総合評価

移管後、お互いの目標を理解する機会として目標を掲示したことは良かったが目標を挙げただけで終わってしまい、成果は出しにくい。職員が増えたことで連携といいながら具体性がなく、共通理解がしにくい。保育運営や保育内容が様々で、わかりにくい。統一しにくい。主体性を尊重するといいいながら本当に子どもたちがワクワクして登園するような環境ができていないか疑問である。叱らない教育といいいながら、自分勝手になっていないか。非認知能力を育てるということでもう少し深めていく必要がある。学年間の話し合いがあまりできていないため学年すら共通理解しないため行事一つでも動きがスムーズにいかないことがある。職員会の進め方や内容について工夫必要である。係りの仕事が5歳担任に集中しやすい行事が多く、日々が忙しい。行事の選別を考えていくとよい。子どもたちが主体的に遊べる環境構成を工夫していくために職員間の話し合いが必要がある。

1 期	
D 実施	C 評価
① 質の向上の為に個人の目標を貼り、目標が達成できたら新たな目標を貼った。週案は昨年のもを参考にできるようにいつでも見れるようにした。目標は園全員の先生が書けるようにした。	いろいろな人が書くことによって形が出来上がっていく。他の先生の目標がみることでよかった。2枚目を書きしてくれる先生もいて目標が達成できていることがうかがえた。コピー機近くの貼付がよかった
② 新しい保育者が多いため、保護者にどんな保育者か知ってもらえるように、廊下に職員紹介を貼った。(写真も) 幼児乳児それぞれのことが共通理解できるようにおたよりを一人ずつ配った	書類が多くなりやめてしまった書類は綴っている人とやっていない人がいた。
③ 嘔吐の処理の仕方を全員に周知させた。嘔吐パケツの場所確認 熱性けいれん、アレルギーの保護者と面談共通理解をする おもらしの雑巾の干し方を決める 怪我の報告の仕方を統一	サニールックスが掃除用と嘔吐用があるが全体に浸透していない人がいた。怪我をした後ファイルに記入することは少しずつ浸透してきた アレルギー児のファイルを作り直し分かりやすくした。

2 期		
A 改善 & P 計画	D 実施	C 評価
目標に向かって振り返るようにしていく。2期は新しいものを作る 関心のあるクラスを参観し良いところ見つけをする。	1期に続き個人の目標を決め、見やすい場所に貼る。希望クラスの保育参観をする。	個人目標を見やすいように張ったが、参加者が少なかった。書きづらかった様だ。職員の数が少なく保育参観に替わる職員がいなかった。紙には書かず個人的に身に行く職員がいた。
ファイルに綴るのではなく箱を設置し入れるようにする。園長、主任、フリーファイルに綴るのではなく、箱を設置しておく。確実にボックス箱に入れる 声がかかりやすい、こどもの信頼関係が気付けるように、朝礼の時に誕生児紹介をする。(名前、どんな子か)	職員紹介を新しいものにした。職員に配る印刷物を入れるように箱を用意した。誕生時の紹介を朝礼で行い、職員みんなで祝えるようにした。	職員はみたが保護者はあまり目につかないところに貼ってあるため、見ているかは不明。パートさんは必要な書類は各自コピーして使用。誕生時に関しては途中から始めたため浸透していなかった。
再度朝礼や会議で2種類を見せながら説明していく テブラを分かりやすく示す 園長に報告、ファイルに記入するだけでなく朝礼で怪我の報告をしどのように気をつけていか言葉に手知らせる アレルギー児の一覧表を作成する	一期で嘔吐の容器を清掃用と嘔吐用で分けていたが嘔吐用を使ってしまいう人がいた。ヒヤリハットで表示はしたが声掛けは足りず記入する人もいない状態であった。嘔吐や血液アレルギー児の一覧表を作成する	容器にわかりやすく赤テープで嘔吐用と記入していくことで間違える人が減った。係りの声をかけて担任やパートからヒヤリハットや怪我の多い場所が出てきた。幼児はトイレ、乳児は各部屋の表示を分かりやすくしていく。汚物がある時は共通理解した。

3 期		
A 改善 & P 計画	D 実施	C 評価
個人目標を今後も続け、すべての職員が書きやすいように欄を作っていく。学年ごとに欄を作り縦のつながりを見えるようにする。保育の参考文献を見つけ話し合いを充実させていく。	各学年ごとにスペースをつくり目標用紙を一人一枚ずつ配り全員が意識できるようにする。参考文献を輪読し内容を理解し保育内容に生かす。	連携を求めたり、貼ってみたりしたが中々共通理解ができず、お互いに信頼し合うことができなかった。参考文献を提供しても真剣に考える人と見ない人がいる。
職員紹介の場所を移動し地域の人の写真を新しくする。職員紹介を移動し(地域の方のところ)地域の方の紹介をやったことコーナーとして紹介する。誕生児は朝礼ノートに名前を書いて司会の人に名前を言ってもらい担任に紹介してもらう。	コーナーに変化を持たせ。こども園を可愛がってくださいという地域の方を保護者にもしっかり伝える。誕生児は忘れないように朝礼ノートに記入し声掛けをする。	地域の方の写真を新しくしコーナーを設定し、職員が共通理解すると共に行事やお世話になった時を機会に紹介する機会になった。誕生児はその日に声をかけることができ、親しみが持てた。
消毒液の使用期限を確認することをこまめにしていく(9月、10月) 汚れた容器をすぐ交換し補充した日、期限を分かりやすく記入していく 怪我をしやすい場所を見てわかるようにまとめていく。暗くなつてからの怪我について保護者にも投げかける。全体に伝えていく 実施後の反省、考察を大切に、次に生かす方法を考えていく。	清掃点検と共に消毒液の点検をし補充するようにした。看護師より定期的に衛生面怪我、安全の指導を受け対応に心がけるようにする。知っ得コーナーを設置し嘔吐対応、インフルエンザ対応、など目で把握できるようにする。	看護師さんがいることで相談しやすく、定期的に話を聞いたり実際にやってみたりするほうがわかりやすい。嘔吐はよくあり、実際に役に立っている。

※記入枠は、各園で調整し使用する。

※保育目標から重点努力目標、内容までを、職員で検討し5月10日までに、今年度のまとめは、3月9日までに完成させ保育課へ提出する。